

場面別の書き換え(言い換え)例

場面	元の日本語	やさしい日本語(例)
窓口	番号札をお取りください。番号でお呼びします。	この番号の紙(カード)を取ってください。番号であなたを呼びます。
	ご用件をうかがいます。	どうしましたか？
	こちらにおかけください。	ここに座ってください。
	下校時間	子どもが、家に帰るために学校を出る時間
	欠席する	やすみます
	参観日	お父さんやお母さんなどが子どもの学校に行って、授業を見る日。 ●参観日の服装がわかりにくい保護者には、服装も伝えるとわかりやすいです。
	弁当持参	ひるご飯(昼に食べる物)を持って行くこと ●「お弁当」を知らない保護者には、お弁当のイラストも加えると、イメージがしやすくなります。
	ゴミの分別をきちんとして、決められた日にゴミを出してください。	ゴミを分ける決まりがあります。これを見てください[分別表を見せる]。「燃えるゴミ」、「燃えないゴミ」は、これです。「粗大ゴミ」は、これです[イラストを見せながら]。ゴミを出す日が決まっています[具体的な曜日が分かれば、併せて伝える]。ゴミは、決まった日に出します。 ●ゴミ袋指定の場合は、併せて伝える。近くで指定ゴミ袋を売っているお店や、値段なども伝えると、さらに分かりやすいです。
学校	携帯電話をマナーモードにするか、電源をお切りください。	けいたいでんわの音がでないようにしてください。電話で話をしないでください(電話をするときは、外に出て小さい声で話してください)。
	こちらには初めて来られましたか？この問診票にお書きください。	ここに、はじめてきましたか？これに書いてください。
	お熱は計って来られましたか？	ねつ熱はありますか？
	こちらの薬は毎食後に、こちらは頭痛の症状がある時に服用してください。	この薬は一日3回、ご飯の後に飲んでください。この薬は頭が痛い時に飲んでください。
	大津波警報直ちに高台へ避難してください。	大きい津波(とても高い波)がきます。今すぐ、高いところへ逃げてください。
	●●川の水位が警戒水位を超えた	●●川で水がたくさん流れています。水の量が多いです。危ないです。
生活		
病院		
災害・緊急時		

表示・案内・説明文などの書き換え例

*バスの表示・案内

出雲大社行きのバス

●8時～13時までは0分、30分の30分間隔で、
13時～15時は0分の1時間毎に運行しています。
片道500円。

出雲大社 行きの バス

¥500

	時	分
AM	8	00 30
	9	00 30
	10	00 30
	11	00 30
	12	00 30
PM	1	00
	2	00
	3	00

*津波避難の説明

津波災害から身を守るために「日頃の備え」と「迅速な避難」が必要です。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災でも、津波により大きな被害が発生しました。

島根県では、過去に津波被害を受けており、また今後も日本海で大きな地震が発生すれば、同じように被害を受ける可能性があります。

津波から自分を守るためには「ふだんの準備」と「早い避難(早く逃げること)」が必要です。

2011年3月11日の東日本大震災では、津波の大規模な被害がありました。島根県でも、過去に津波被害がありました。もし日本海で大きい地震が起きたら、被害を受けるかもしれません。

*運動会の案内

町内春季運動会について(ご案内)

下記のとおり、春季運動会を開催しますので、お出かけください。

記

日 時：平成25年5月10日(日)

9:00～12:00

会 場：島根小学校 校庭

参加費：無料

*雨天延期

▲町の春の運動会をします

いつ：2013年5月10日(日)

9:00から12:00まで

どこで：島根小学校 校庭(外で運動する所)

お金はいりません

*雨が降ったら、違う日にします



*「やさしい日本語」を含めた多言語表示



指定避難所

○○市



指定避難所 (逃げるところ)

Evacuation Shelter 避难所

○○市